



バーコード	2次元コード
 [JAN]	 [GS1 Data Bar スタック]
 [NW-7]	 [QR-code]
 [ITF]	 [DataMatrix]
 [Code39]	 [PDF417]

DT-X7オプション



主な仕様

	DT-X7M52	DT-X7M52SB	DT-X7M62SB
価格	オープン価格		
CPU	Marvell® PXA270 416MHz		
OS	Microsoft® Windows® CE 5.0日本語版		
ソフトウェア	ブラウザ、バックアップツール、本体間コピー、ボイスレコーダ、リモートデスクトップ		
メモリ	RAM 64MB (ユーザー領域:30MB)	128MB	128MB
表示	ディスプレイ 2.4インチ、320×240ドット バックライト LED/バックライト	256MB (ユーザー領域:180MB)	
インジケータ	LED 充電確認用LED×1、動作状態確認用LED×1	カラー半透過型TFT液晶、65,536色	
入力	テンキー 0～9(かな、アルファベット表記) スキャナトリガーキー 制御、その他キー	センタートリガーキー、Lトリガーキー、Rトリガーキー 電源キー、リセットボタン、Fnキー、CLRキー、ファンクションキー(F1～F8)、決定キー、カーソルキー	
スキャナ	方式 C-MOSイメージャ 752×480 pixels(wide VGA)モノクロ 最小分解能 バーコード0.15mm スタック型コード0.168mm 2次元コード(マトリックス型)0.25mm 読取深度 バーコード40～410mm スタック型コード50～250mm 2次元コード(マトリックス型)60～150mm	読取コード	
読み取り	バーコード	GS1 DataBar オムニディレクショナル(RSS-14)、GS1 DataBar トランカート(RSS-14 Truncated)、GS1 DataBar リミテッド(RSS Limited)、GS1 DataBar エクスパンデッド(RSS Expanded)、Code11、Code39、Code93、Code128(EAN128(GS1-128))、EAN8(JAN8)、EAN13(JAN13)、UPC-A、UPC-E、Codabar(NW-7)、Interleaved 2 of 5(ITF)、MSI、ATA、ISBT	
	スタック型コード	GS1 DataBar スタック(RSS-14 Stacked)、GS1 DataBar スタック・オムニディレクショナル(RSS-14 Stacked Omnidirectional)、GS1 DataBar エクスパンデッド・スタック(RSS Expanded Stacked)、Code49、PDF417、Micro PDF、Codablock F、TLC39、Composite	
	2次元コード	Aztec、DataMatrix、Maxicode、QR Code	
無線LAN	標準規格	IEEE802.11b準拠(最大11Mbps)	IEEE802.11g準拠(最大54Mbps)
チャンネル数	—	IEEE802.11b:14(うち同時使用4チャンネル)	IEEE802.11g:13(うち同時使用3チャンネル)
セキュリティ	—	WPA2	—
インターフェイス	赤外線 IrDA Ver.1.3 Low Power準拠(最大4Mbps)	Bluetooth® Ver.2.0(Class2)	内蔵(モノラル)
サウンド	Bluetooth®	内蔵(モノラル)	—
スピーカ	—	—	—
パイプライン機能	—	ソフトウェアの設定により使用可	—
電源	主電池 リチウムイオン充電電池(標準/大容量)	リチウムイオン充電電池(大容量)	—
電池寿命※1	標準充電電池:約13.5時間※2 大容量充電電池:約23時間※2	標準充電電池:約9時間※3 大容量充電電池:約15時間※3	大容量充電電池:約14時間※3
充電時間※4	標準充電電池:約3時間、大容量充電電池:約5.5時間	リチウム二次電池(データ保持:約10分※5)	—
副電池	—	—	—
動作温度	—10～50℃	—20～50℃	—
環境性能	落下強度 1.5m※6(プロテクタ装着時)	JIS防沫形準拠、IP54準拠	—
形状	外形寸法(プロテクタ装着時) 幅:グリップ部:約51mm 表示部:約52.5mm 奥行:約169mm 高:グリップ部:約30.5mm 表示部:約23.5mm	質量 約160g(プロテクタ装着時) 約150g(プロテクタ未装着時) 約180g(プロテクタ装着時)	—
付属品	—	—	—

※1 電池寿命は、使用環境により異なります。 ※2 常温、新品電池、CPUスピード設定が自動/ワセーブモード、バックライトOFF、待機キー入力:カスキャンが20:1:1の場合 ※3 常温、新品電池、CPUスピード設定が自動/ワセーブモード、バックライトOFF、待機キー入力:カスキャン、無線が20:1:1の場合 ※4 常温、電源OFF、I/Oボックスまたは置き充電器を使用した場合 ※5 主電池の未装着時、または残量がない場合 ※6 コンクリート上、6面4角5サイクルの場合、試験値であり保証値ではありません。 ※7 出荷時にプロテクタ装着済 ※8 M62SBは出荷時に装着済

導入に関するお問い合わせは下記まで

カシオ計算機株式会社 | 製品情報

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2 http://casio.jp/ht/dtx7_2d/

国内営業統轄部

PS推進室(海外向けモデルについてもご相談ください。) Tel.03-5334-4637

法人第二営業部 Tel.03-5334-4534 中部システム営業所 Tel.052-324-2135

関西システム営業所 .. Tel.06-6243-1717

本製品の使用済後の取扱について

お客様からの廃棄処理依頼に対し有償で回収致します。

HP【<http://www.casio.co.jp/csr/env/>】

CASIO

HANDY TERMINAL

DT-X7

小型2次元コード対応ハンディターミナル

目指したのは、使いやすさの本質



<http://casio.jp/ht/>

使いやすさの本質へ

快適な読み取り業務を実現するために、ハンディターミナルができること。
それは、使いやすさというツールとしての本質をもう一度見直すこと。
そこで、DT-X7の製品開発には、ユニバーサルデザインの設計手法を採用。
人間中心設計に基づいたユーザー視点の製品開発により、
多彩な現場、幅広いユーザーの声を基本設計にフィードバック。
ハンディターミナルに求められる、真の使いやすさをカタチにしました。
ひとりひとりに最適な使いやすさを――
DT-X7が、さまざまなニーズに、優れたパフォーマンスでお応えします。

ユニバーサルデザイン

人間中心設計プロセスによる製品開発により、
ハンディターミナルに求められる「使いやすさ」を徹底追求。

目的	お客様が感じる商品の総合的な品質の向上
手段	ISO13407(人間中心設計)プロセスに基づく商品開発
コンセプト	ユニバーサルデザイン

ユニバーサル
デザイン = 使いやすさの
追求



KEY OPERATION | キー操作のしやすさ

指の動きとキーの使用頻度を考慮しレイアウトされたキーボード。ケースに沿った階段状のキー配列、キー間を隔てる凸状リブ、センター列のキー(2、5、8、0)の横幅を広くするなど、隣接するキーの同時押しや誤操作を防止し、コンパクトながらも使う人を選ばない操作性を実現しました。



SCANNING | スキャニングのしやすさ

先端部のC-MOSイメージャは、スキャナの照射方向が直感的にわかりやすく、ターゲットを狙いやすいガイドンス形状。また、面サイドとセンターに3つのスキャナトリガーキーを配置。スキャニング時の一連の動作をよりスムーズにし、確実に快適な読み取り業務をサポートします。



HOLDING | 持ちやすさ

本体の裏面にふくらみを持たせ、指を固定しやすく手の平にしっかりと馴染むラウンドフォルム。両サイドには滑り止めのディンプル加工を施しグリップ性を向上。さらに、手の平の上でより安定感が得られる位置に重心を最適化し、長時間作業でも手に負担のかかりにくい形状を実現しています。

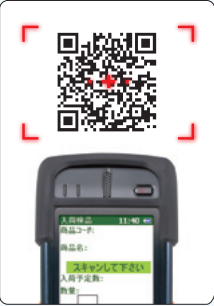


最新の標準コードGS1 DataBar対応



2次元コードの読み取りに対応した
C-MOSイメージャを搭載

『DT-X7 M52/M52SB/M62SB』は、バーコードスキャナー一体型モデルの優れた特長を継承しながら、新たにC-MOSイメージャを採用することで、流通・製造業における原材料の確認、医療現場における医薬品のチェックなど、様々な分野で普及が進む2次元コードの読み取りに対応。例えば消費期限情報を含む食品の2次元コードを生産・加工・流通の各段階でスキャンすることで、流通経路を明確にすることができ、トレーサビリティ(追跡可能性)の確立に役立ちます。さらに最新の標準コード(バーコード・スタック型コード)であるGS1DataBarの読み取りにも対応しました。



安定したパフォーマンスを支える充実機能



多彩な使用シーンに対応した耐環境性能

プロテクターを標準装備し耐衝撃性能を強化。最大1.5mの落下強度を実現。また、JIS防沫形^{※1}(IP54)に準拠、さらには氷点下(-20℃^{※2})における動作にも対応。ラフに取り扱いがちな状況でも気にせず使用でき、雨天時の屋外作業や埃の多い倉庫での作業など、さまざまな使用環境で快適に動作します。

^{※1} いかなる方向からの水の飛沫を受けても有害な影響のないもの。
^{※2} DT-X7 M52SB/M62SBの場合。DT-X7 M52は(-10℃)。



DT-X7
M52 / M52SB / M62SB



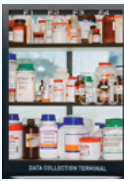
自動復旧ツールによる安心のバックアップ機能

万一電池が完全放電したり、充電忘れによりメモリが保持できなくなったときでも、自動復旧ツールを使用することで、RAMを初期設定状態に戻し、設定情報やユーザーアプリケーションをその場で速やかに復旧します。



視認性に優れたカラー液晶

現場での視認性に優れ一覧表示に適した2.4インチQVGA半透過型カラー液晶を採用。メニュー表示とファンクションキーのカラーを同色とし直感的な操作をサポートするとともに、誤操作防止にも大きく貢献します。



幅広い運用スタイルに応えるネットワーク機能



リアルタイム運用を実現するワイヤレス通信機能



IEEE802.11bとIEEE802.11gの2つの規格に準拠した無線LANモジュール^{※1}を内蔵。無線LAN上で音声通話を実現するVoIPパッケージや802.1x(REAP、EAP-TLSなど)やWPA2にも対応。また、モバイルプリンタや携帯電話との連携を可能にするBluetooth[®]Ver.2.0(Class2.0)も標準装備。さらに、EDR機能^{※2}を搭載し、高速通信が可能になりました。

^{※1} 無線LAN内蔵モデル(DT-X7 M52/M52SB/M62SB) ^{※2} 通信先もEDR機能が必要。



無線環境の構築・運用をサポート

特別な機材を使用することなく、簡易な無線環境調査を行うツールをご用意。スムーズな無線環境構築をサポートします。また、無線接続を維持しながら低電力で待機し、瞬時に無線LANが使用できる無線スタンバイや、無線電源OFFから数秒で通信可能状態へ復帰するクイックレジャームなど、快適な無線運用を支援する機能を搭載。

スムーズな導入を可能にするソフトウェア群



Windows[®] CEをOSに採用

OSにWindows[®] CE 5.0を採用し「.NET Compact Framework 2.0」を標準搭載。VC++、VB、C#など、Windowsベースの高度で汎用性の高い開発環境「Visual Studio」が利用でき、独自OS・独自言語に比べ、アプリケーション開発の生産性が向上。また、開発・メンテナンスコストの軽減にも貢献します。



快適な読み取り業務を支援する音声読み上げ機能

検品作業時の数量や、売価チェック時の価格などを読み上げる音声読み上げ機能[※]を実現。画面を確認する回数を減らすことで、よりスムーズな業務を可能にし、繰り返し作業に伴う身体的・心理的ストレスの軽減と業務効率化を同時に実現。

[※] ライブラリにて提供